

## 地域学校協働連携NEWS



こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→

## 地域学校協働南会津地区研修会① ～「げんき山」実践発表～

11月13日(木)、南郷総合センターにおいて、地域学校協働南会津地区研修会を開催しました。

今回の研修会は、放課後子ども教室のプログラムに視点をあてた内容でしたが、放課後子ども教室のコーディネーターやスタッフ以外にも、保小中高校の先生方、放課後児童クラブのスタッフ、社会教育委員、行政関係者など42名もの方々にご参加いただきました。

本号から複数回に渡り、研修会の様子を取り上げます。今回は、南会津町放課後子ども教室「げんき山」コーディネーターである中山美華さんの実践発表について紹介します。



中山さんは、長年、南郷地区の放課後子ども教室の中心として関わってこられました。現在は福島県地域学校協働本部事業 評価検証委員会の委員でもいらっしゃいます。昨年度は、郡山市ビッグパレットふくしまで開催された地域学校協働活動事業推進フォーラムにおいても、げんき山の取組を発表されました。

中山さんの実践は、「思いやり・自主性・協調性を育みたい」「自然や地域のよさを感じる活動をしたい」など、育てたい子供の姿や子ども教室の目指す形を明確にして、それを基に活動を考えられている点が素晴らしいです。

また、右記の「げんき山の活動の特徴」にあるように、活動には継続性、関連性があります。「今月はプログラムをどうしよう」「体験活動を毎回取り入れるのは難しい」という悩みに対して、大変参考になる実践発表でした。

## げんき山の活動の特徴

- ① 目標を設定して長期的に活動する
- ② 1つの活動からさらに発展させていく
- ③ 親子一緒に体験を取り入れる
- ④ 地域の人が自由に参加する
- ⑤ 地域の行事に参加する
- ⑥ 地域の自然を生かした活動をする

## &lt;参加者の感想&gt;

- ただ子供たちを活動させるのではなくて、そこにはコーディネーターの願いや思い、その地域の願いや特色などがあることがわかりました。
- 日々、子供の成長は見守りますが、その子供が大人になった時のイメージはもったことがなかったです。
- 高校で勤務していると、地域の子供たちがどのような活動をしているのか知る機会がほとんどないため、具体的な事例を交えたお話はとても貴重でした。ぜひ、高校生にもパイプをつなげていただいて、地域連携の輪に入れていただけたら嬉しく思います。
- 子供たちとの信頼関係、全員が家族、目標を設定して長期的に活動する、地域の自然を生かした活動が特に素晴らしいと感じました。地域の強みを生かす実践はとても参考になるお話でした。
- 学校や家庭だけではなく地域に居場所があり、見守り育てくれる大人がいる。そういう環境でのびのび育った子供たちが、地域を愛し地域に貢献していくのですね。美華さんのお話はまさしく人材の地域循環だと思いました。子供たちが大人になり活躍しているのを拝見して、涙が出ました。

